

議会議事録校正前及び
要約しているため取扱注意

令和 6 年 10 月 18 日
第 24 期立川市図書館協議会
第 2 回定例会資料 1

令和 6 年（2024 年）第 3 回立川市議会定例会報告

1 議会日程

- 会期は 8 月 30 日（金）から 10 月 2 日（水）まで
- 詳細は、「令和 6 年（2024 年）第 3 回市議会定例会会議日程表」の通りです。

2 一般質問（8 月 30 日（金）～9 月 4 日（水））

- 一般質問は 22 人の議員から出され、図書館に関する質問は 3 名で以下の通りです。

（1）わたなべ 忠司 議員

主な質問内容

- 社会教育機関等に関する事務の管理・執行について
 - ・ 市長部局移管の考え方
 - ・ 関係者ならびに現場の反応
 - ・ 教育委員会のこれまでの取り組み

（2）永元 香子 議員

主な質問内容

- 図書館について
 - ・ 第 5 次長期総合計画について
 - ・ 市長部局になることについて
 - ・ 今後の図書館の在り方について

（3）高島 奈美 議員

主な質問内容

- こぶし会館について
 - ・ 中規模改修の内容について
 - ・ 幸図書館について

3 決算特別委員会 9 月 9 日（月）～13 日（金）

- 教育費の審議は、9 月 13 日（金）に行われ、図書館に関する質問は 1 名で以下の通りです。

（1）永元 香子 委員

主な質問内容

- 読み聞かせのボランティアグループについて
- ボランティアグループを対象とした読み聞かせの養成講座について
- 読み聞かせのボランティアグループに対しての市民からの声について

- ボランティアグループ活動の今後の課題について

4 文教委員会 9月24日(火)

- 詳細は「文教委員会」様式2のとおりです。
- 図書館からの報告「「たちかわ電子図書館」による輪島市への支援期間延長について」、委員からの質問なし。
- 教育総務課からの報告「社会教育機関等に関する事務の管理・執行についての意見聴取について」、図書館の移管に関連する質問は5名で以下の通りです。

(1) 門倉 正子 委員

主な質問内容

- 意見聴取に対する回答を教育委員会としてどのような協議・検討をしたのか。
- 政治的中立性がなぜ大事なのか。
- 関係者・協力者とはどのような方々なのか。
- 社会教育を市長部局に移管した場合、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の対象から外れるのか。
- 市長部局への移管について、総合教育会議の議題にしなかった理由は。
- 政治的中立性を担保する仕組みについてはどのように考えているのか。
- 市が考える移管によるメリット、デメリットについて、取組事例でお示しを。
- 紹介いただいた取組は市長部局へ移管しなくてもできるのではとの声もあるが見解を。
- これまでどのように関係者の声を聞いてきたのか。
- 図書館協議会から多くの賛成の声、また建設な提案を頂戴したとの報告があったが、具体的にはどのような意見があったのか。
- 図書館協議会での説明における議事録などは今後出していただけるのか。
- 図書館協議会の皆様の意見は大変貴重な意見だと思うので、議事録として、概要版でも良いのでお示しいただきたい。
- 図書館協議会以外にも図書館に携わっている関係者やボランティア団体の方の声を今後聞く予定があるのか。
- 市長部局への移管について、関係者からいろいろと声が寄せられている。このような関係者の声を聞いて、丁寧に進めていくことが大事だと考えているが見解を。
- 文庫連の集まりに市長がふらっと行かれたということだが、移管に対して文庫連からはどのような声が寄せられたのか。
- 生涯学習推進審議会や文化財保護審議会からは懸念の声が上げられたが図書館協議会からは賛成の声があった。ここを根拠に今回移管を決めたということであれば、図書館協議会でお示しいただきたい。

- 市長部局へ移管した際に、新たな事業展開により業務量が増えた場合、本来業務に支障が出ないよう人員の手当てなども考えた上で取り組んでいかれるのか。
- これまでも、図書館では司書の拡充や人材育成などの課題があった。市長部局に移管された場合にもこのような課題はしっかりと引き継いで、より充実した運営を行っていくということをどう担保されるのか。

(2) 原 ゆき 委員

主な質問内容

- 政治的中立性について、様々な団体からも懸念するといった意見がある。図書館でいえば、選書の専門性の確保や知の集積場所といった特性を担保する、そういった仕組みやルールづくりなどについては、現段階ではどのように考えているのか。
- 部局として移管することについて、事務作業の移管、変更というのは、来年4月から開始できるようなスケジュールで進められるのか。
- 市立図書館と学校図書館との連携も大変重要であり、図書館が市長部局へ移管することにより、学校との関わりが薄くなってしまわないのではと心配する声もあるが、その点はいかがか。
- どう市民に見える化、分かる化していこうと考えているのかをお示しいただきたい。
- 図書館の市長部局への移管について、他の自治体の事例では、補助執行や事務委任、職務権限の特例という方式があるが、立川市はどのような方向性なのか。
- 職務権限の特例という方向性で今考えているということだが、具体的にどのような内容で移管されるのか。

(3) 高畠 奈美 委員

主な質問内容

- 移管について、庁内でどのような経緯で、どれくらいの期間をかけて協議したのか。
- これだけ大きな組織の編成をするに当たり、大きな課題があったと思う。教育委員会の課題認識としては、理事者の答弁内容と同じような形でよいのか。
- 今後、移管について、教育委員会と市長部局の間で協議するのか。
- 図書館が今までと変わったような使い方になるのではと市民から意見・相談を聞いている。今まで利用してきた市民に対して丁寧に説明していただきたい。

(4) 永元 香子 委員

主な質問内容
<ul style="list-style-type: none">● 長い間、立川市の図書館活動を支え、図書館協議会にも参加している立川地域文庫連絡会のメンバーから、先日9月17日に市長、教育長、教育部長宛てに意見書が提出され、様々な角度から市長部局への移管について、移管する必要はないのではないかという意見が出されている。こちらについての感想はあるか。● 先日9月22日に立川の図書館を考える会の会議に私も参加した。現在の図書館業務を行うに当たって、職員がまだまだ足りない現状がある、中央図書館の中に空いているスペースがとても少ない、このような中でどうやって新しい業務を付け加えることができるのか不安が大きくなっているといった声を直接聞いた。現場を知っている図書館関係者と、もう一度丁寧な話し合いを行うべきと考えるが、見解を。

(5) 中山 ひと美 委員

主な質問内容
<ul style="list-style-type: none">● 市長部局へ移管すれば、スピード感をもった対応ができるとのことだが、その見解や感想があれば伺いたい。● 中央図書館の充実もよいが、学校図書館の充実も考えていただきたい。

- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について、図書館に関連する質問は1名で以下の通りです。

(1) 永元 香子 委員

主な質問内容
<ul style="list-style-type: none">● 第4次子ども読書活動推進計画の「家庭や地域での取組」について、指標である「講座・研修参加人数」が令和5年度は153人となっており増加している。この講座、研修内容はどのようなものか。● 乳幼児向けおはなし会の参加人数を見ると、柴崎、多摩川、錦図書館の参加人数が少なくなっているが理由は何かあるのか。

5 議案審議

- 9月5日(木)、10月2日(水) 【図書館関係なし】